

令和2年度 事務事業評価シート(詳細) ※令和元年度に実施した事業を評価しています

基本情報

事務事業名	コンベンション誘致									
担当部署	広報室			事業コード	1					
所属長	大澤 克彦			事業区分	ソフト事業					
予算事業名	シティセールスの推進			新規・継続	継続					
予算事業コード	会計	10	款	02	項	01	目	02	事業開始年度	平成28年度

1. 事業の位置付け、関連事業及び法令による実施義務等(Plan)

第四次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)

基本目標(章)	第8章	つながりによるまちづくりと持続可能な行財政運営の推進	法令による実施義務	義務ではない
施策	52	時勢に応じた施策の推進	根拠となる法令	なし
取組施策	3	シティセールスの推進	その他実施根拠(条例、要綱等)	なし
関連事業	なし			

2. 事業の目的と概要(Plan)

実施主体	市実施(直営)			
対象(誰・何を対象に)	企業等の会議、学術団体・学会等が行う会議、展示会・見本市、各種イベントに参加する者を対象とする。			
目的(対象をどのようにしたいか)	参加者の宿泊、飲食、観光等の消費行動を促し、地域経済の活性化を図っていく。			
事業の概要(活動内容、実施手段・方法など)	コンベンション誘致とは、企業等の会議、学会等が行う会議、展示会などを本市へ誘致することである。ウェスタ川越をはじめとする市内の文化芸術施設や会議等が行える機能を有する市内ホテル等において、コンベンションの誘致を行う。			

3. 前年度に立てた計画(Plan)

- ・市内調整(地域創生課、観光課、文化芸術振興課)
- ・コンベンション誘致に係る関係機関との調整

4. 取組実績(Do)

学会・会議・イベント等の開催による経済波及効果等を計るため、ウェスタ川越で開催された日本整形外科学会(埼玉医科大学)において、参加者へのアンケート(調査項目:居住地、宿泊の有無、年代、消費額、宿泊先、川越市への来訪回数など)を行い、結果について、庁内で情報共有を図った。

5. 実施にかかるコスト(Do)

(単位:千円)

(1) 支出の部		29年度	30年度	元年度	2年度(見込額)	備考
人件費	A	1,140	1,145	764	764	
	正規職員(1年間の従事人数)	0.15人	0.15人	0.10人	0.10人	
	臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
事業費	B	0	0	0	0	
総支出(A+B)		1,140	1,145	764	764	

(2) 収入の部

国庫支出金	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
使用料・手数料	0	0	0	0	
その他特定財源	0	0	0	0	
一般財源	1,140	1,145	764	764	
総収入	1,140	1,145	764	764	

6. 指標による分析 (Check)

(1) 活動指標

評価指標	単位	29年度	30年度	元年度	2年度(予定)
指標の定義・説明					
指標の定義・説明					

単位当たり費用 (下段は前年度)
#DIV/0!
#DIV/0!
#DIV/0!
#DIV/0!

(2) 成果指標

評価指標	単位	29年度	30年度	元年度	2年度目標値	将来目標値
				(目標)		
				(実績)		年度
指標の定義・説明						
				(目標)		
				(実績)		年度
指標の定義・説明						

単位当たり費用 (下段は前年度)
#DIV/0!
#DIV/0!
#DIV/0!
#DIV/0!

7. 評価 (Check)

項目	評価	評価コメント及び課題等
必要性	B	市が関与することが妥当であるか、時代の潮流や市民ニーズに対して目的や内容が合っているか コンベンションを誘致することで、宿泊を伴う飲食等の地域経済の活性化等が図れることや、川越市の知名度の向上といった側面からも、必要な事業である。
有効性	A	施策の目標の達成に貢献しているか 「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略:キテミルKAWAGOE」における施策の目的達成のために必要な事業である。
達成度	C	設定した活動・成果指標の目標を達成しているか 令和元年度は、日本整形外科学会への参加者へのアンケートを実施したのみで、関係する部署、団体への取組がなかったため、進捗しなかった。
効率性	B	民間委託や指定管理者制度の導入は可能か、コスト削減の余地はあるか、受益と負担(補助)の適正化が図られているか 市内の関係する団体(DMO川越)への事業移行が必要である。
総合評価	B	令和元年度は、日本整形外科学会(埼玉医科大学)において、参加者へのアンケートを行ったのみで、コンベンション誘致への活動までは、進んでおらず、進捗が滞っている。

8. 今後の方向性及び今後の取組(改善策など)(Action)

今後の方向性	改善
2年度	市役所内関係各課、市内の関係する団体(DMO川越)とコンベンション誘致に関する情報共有を進め、市と市内の関係する団体(DMO川越)との役割を整理していく。
3年度	市役所内関係各課、市内の関係する団体(DMO川越)と連携を図り、誘致対象となり得る企業、団体等がどういったものがあるのかといった調査等を市内の関係する団体(DMO川越)の受け入れ体制が整った段階で行う。

【参考】

(1) 比較参考値(他市での類似事業の例など)

県内の中核市、川口市と越谷市では、コンベンション誘致については、取り組んでいない。令和2年2月現在。さいたま市の開催状況については、令和元年度、46件のうち医学学会系が15件。開催規模は、80人から2,800人参加と幅広く対応している。

(2) これまでの見直しや改善等の経過